

LIBRARY NEWS VOL.6

図書館本館案内

ビブリオバトル

図書館セミナー

図書館倶楽部メンバーより



発行：図書館倶楽部

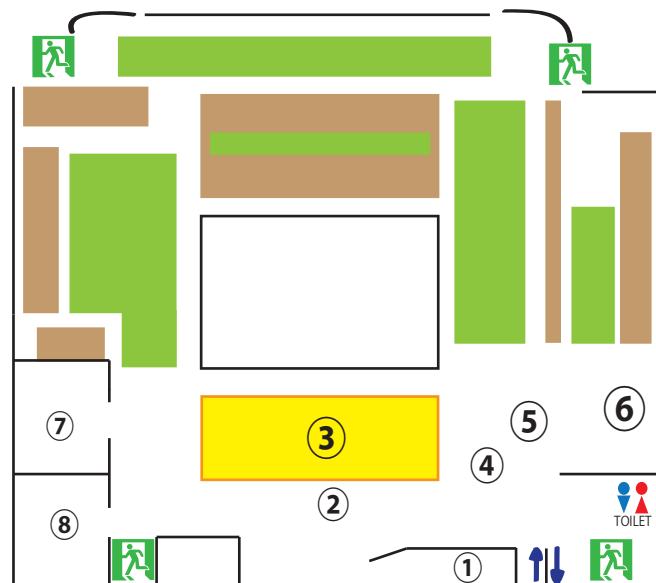
☎ 084-936-1589

住所：広島県福山市学園町1番地三蔵

イラスト 迫 / 編集 荒井

発行日：2016/3/23

図書館本館案内



- ① カウンター
- ② 自習用パソコン・ゼルコバ端末
- ③ アクティブスペース
- ④ 検索性パソコンコーナー
- ⑤ 新聞/シラバス/資格試験/本のリサイクルコーナー
- ⑥ 郷土資料/本学教員著作所コーナー
- ⑦ ラーニングcommons
- ⑧ EU情報センター

貸出可能冊数

	図書	消耗図書
1～3年生	5冊(15日以内)	3冊
4年生以上	10冊(1か月以内)	(1週間以内)

利用時間：月～金 8:30～19:30
 土(本館) 8:30～16:30
 土(分館) 8:30～15:00

(日・祝祭日、本学の定めた休日は閉館)

ビブリオバトル

1月27日(水)にラーニングcommonsでビブリオバトルが開催されました。バトルは3名です。今回は井上君が発表してくれた『姑獲鳥の夏』がチャンプ本です。もし、ビブリオバトルって何?と疑問に思われた方がいらしたら『Library News Vol.5』などを参考にしてください。発表者、見学者は大歓迎です。



【京極夏彦『姑獲鳥の夏』講談社文庫】



姑獲鳥の夏は、京極夏彦氏のデビュー作で、シリーズの第一作目でもある。雑司が谷の医院にまつわる奇怪な噂話を巡り、様々な事件が起きる。事件を解決していく中で、様々な不思議としか言えない事象が起こるが、しかし、主人公の関口の友人であり、古本屋で拝み屋の中禅寺はそうした事を切り捨てる。「この世には、不思議なことなど何もないのだよ」気になった方には是非手に取って頂き、最後まで読んでいただきたい。

2年 井上 翼



【おおじこうじ『ハイ☆スピード!』KAエスマ文庫】

遙は泳ぐのが速い。だがそれを鼻に掛けず勝ち負けに拘らずにいつも凜と過ごしていた。そんな勝ち負けに拘らない遙が仲間と出会い衝突を繰り返す度に仲間の大切さや勝ち負けに対する価値観の変化などを感じながら上巻では男子小学生、下巻では中学生の青春が味わえる作品です。

1年 河本 莉佳



【竹宮恵子『風と木の詩1』白泉社文庫】

もしこの漫画を読もうという方がいたら読む前に心の準備をしといてください。

2年 荒井 賢

☆ 図書館セミナー

1月21日(木)に、建築学科4年の内海偲さんと、同学科の藤原美樹先生を講師としてお招きし、図書館セミナーがラーニングコモンズで開催されました。以下はそのお話の冒頭であります。

『『ムーミン屋敷』に見えるインテリア』 講師 内海偲

『ムーミン屋敷はひみつのにおい』
講談社の翻訳絵本
トベ・ヤンソン 著



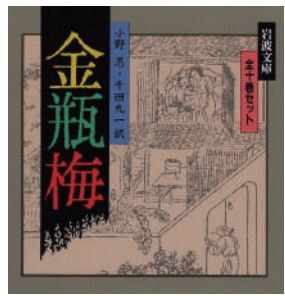
フィンランドの代表的な物語、『ムーミン』に登場するインテリアと同時代に見えるインテリアを研究、検証し、その共通、相違点などを明らかにすることが目的です。またムーミン一家の住まいであるムーミン屋敷の推定、実現化していくことも試みます。<中略>

ひとことマメ知識

フィンランドは冬がとても長い。ゆえに家で過ごす期間が長く、家具が発達したと考えられている。

『『金瓶梅』に見えるインテリア』 講師 藤原美樹

『金瓶梅』 岩波文庫
小野忍・千田九一 (翻訳)



『金瓶梅』とは中国の古典文学です。これに見えるインテリア家具を検証していきます。この『金瓶梅』とは、ポルノ小説と言われたりもして、発禁の浮き目になったこともあります。とても長い小説なのですが、書いてある

内容は飲食など、いろんな生活の部分であり、人によっては読んでとても退屈な小説だと思います。この小説に付録として挿絵集があるのですが、これに沿って、いろんなインテリアや家具について考察していきます。<中略>

ひとことマメ知識

『金瓶梅』に出てくる家具は心と体の健康のための造り。

◎ 図書館倶楽部メンバーより ◎

このコーナーでは図書館倶楽部メンバーによるお勧め本などを紹介してまいります。



『センス・オブ・ワンダー』
レイチェル・カーソン 著 上遠恵子 訳 404/C

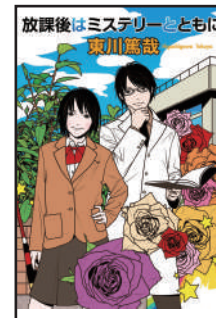
皆さんは自然に触れ、驚いたり、感動したりしたことはありませんか？そのような感性を「センス・オブ・ワンダー」と言います。本書には、著者で海洋生物学者である著者カーソンの自然観と、子どものセンス・オブ・ワンダーを育もうとする親たちへのメッセージが優しく、読み易く綴られています。カーソンの繊細で豊かな自然観を感じることができます。

『自分のなかに歴史をよむ』
阿部謹也 204/A

筑摩書房から1988年に出版された本書は、歴史学者である阿部謹也自身が歴史研究の道にはいるきっかけと、その後の経過をまとめた書物である。約30年の書物となるが、読みやすくヨーロッパ研究について書かれている。また著者の大学時代や幼少時代の振り返りも興味深い。1、2年生や卒業研究で行き詰っている3年生にもおすすめしたい一冊。



『放課後はミステリーとともに』
東川篤哉 913.6/H



この作品は『鯉ヶ窪学園探偵部シリーズ』の番外編にあたるミステリー小説です。タイトルにも出ている、探偵部という部活の副部長、霧ヶ峰涼の視点で起きた事件を解決していきます。あっと驚くからくりや、読者の思考の裏をついたトリックは、読者を思わずうならせるはず。また、ユーモアにあふれた文章は、読者をまたたくまに物語に引きつけることでしょう。本編と一緒に、ぜひ読んでみて下さい。

◎ 新入生にむけて

みなさん、福山大学へようこそ。私はこの春福山大学を卒業した、図書館倶楽部の元メンバーです。本日は元メンバーから図書館の利用法などお話し出来たらと思います。早速ですが、福山大学図書館の開館時間は平日朝8時半から夜の7時半までです(授業期間中)。テスト期間中や授業と授業の間の「空きコマ」には図書館を利用する学生が多くいます。図書館ではインターネット、DVDの鑑賞も可能です。また図書館に所蔵のない本は購入希望を出すことも可能。4年間は長いようであつと出で良かったと思えるよう、自分の決断を信じ一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。最後になりましたが、皆様の新生活が幸多きものなることを願っています。

新メンバー募集中！詳しくは図書館カウンターまで。